

人口減少・地域活性化対策特別委員会資料

令和元年12月9日（月）

総 合 政 策 部
環 境 森 林 部
農 政 水 産 部
教 育 委 員 会

目 次

- 県内の地域資源ブランドの情報発信について 1
- 祖母・傾・大崩ユネスコエコパークの取組について 3
- 世界農業遺産高千穂郷・椎葉山地域の取組について 7
- 日本遺産「南国宮崎の古墳景観」の取組について 9
- 国立公園満喫プロジェクトの取組について 11

【資料】

祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク 総合ガイドマップ

県内の地域資源ブランドの情報発信について

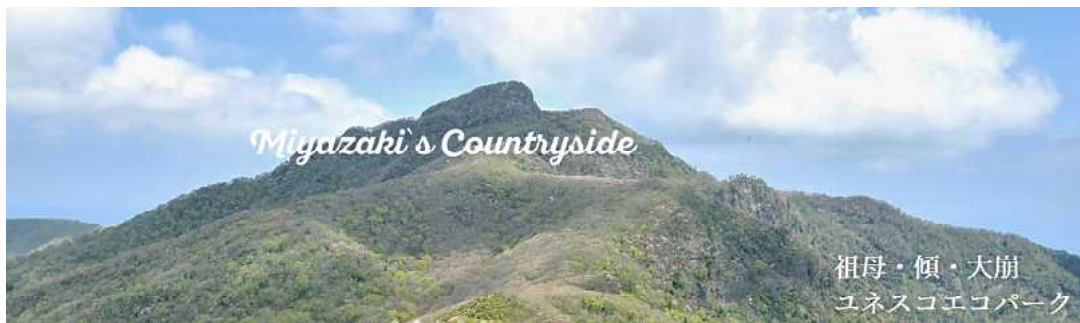
中山間・地域政策課

1 目的

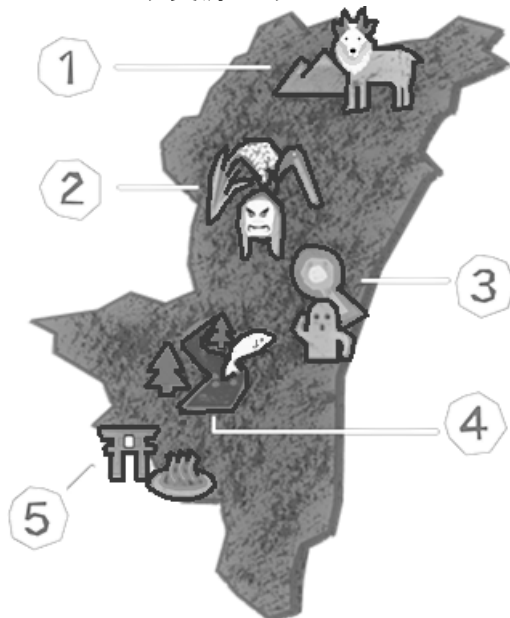
世界農業遺産やユネスコエコパークなどの県内の地域資源ブランドを一体的に情報発信することにより、各地域資源ブランドの認知度を高め、地域住民の誇りの醸成や観光誘客につなげることで、本県のイメージアップを図る。

2 宮崎地域資源ブランドホームページの開設

5つの地域資源ブランドの情報や魅力を紹介する多言語対応のホームページを平成31年3月に開設。各ブランドのホームページへ誘導する玄関口としての役割も担う。



5つの地域資源ブランド



①祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク

(延岡市・高千穂町・日之影町)

②世界農業遺産 高千穂郷・椎葉山地域

(高千穂町・日之影町・五ヶ瀬町・諸塚村・椎葉村)

③日本遺産 南国宮崎の古墳景観

(宮崎市・西都市・新富町)

④綾ユネスコエコパーク

(綾町)

⑤霧島ジオパーク

(都城市・小林市・えびの市・高原町)

3 「みやざき地域資源ブランド推進会議」の設置

「世界ブランドのみやざきづくり」を全県的に推進するため、行政と民間有識者で構成する「みやざき地域資源ブランド推進会議」を平成29年12月に設置。

効果的な情報発信の方策等について意見をいただき、今後の取組に反映させることとしている。

4 地域資源ブランド浸透に向けた取組

(1) ホームページを活用した取組 (R元年度)

① インスタグラム

宮崎ならではの暮らしや風景を写真で紹介。※フォロワー数 約 1,480 (11 月末現在)

② 宮崎県地域資源ブランドフォトコンテスト

「わたしが見つけた宮崎の宝」というテーマで実施中。12 月 31 日締切。

③ 360度画像コンテンツの作成

山に登らないと見ることのできない景色などを手軽かつリアルに体感できるコンテンツを作成中。



(2) その他の取組

① 世界農業遺産・ユネスコエコパーク中学生サミット

(平成 31 年 1 月、高千穂町で開催)

世界農業遺産高千穂郷・椎葉山地域と綾、祖母・傾・大崩ユネスコエコパークの 3 ブランドが連携し、認定・登録地域の中学生がそれぞれの地域における研究成果を発表。※参加者約 200 名

② ユネスコエコパークを活かした地域づくり情報交換会

(令和元年 12 月、綾町で開催予定)

綾と祖母・傾・大崩の 2 つのユネスコエコパーク内においてまちづくりや自然保護等の様々な分野で活動する民間団体による事例発表や意見交換を実施。



祖母・傾・大崩ユネスコエコパークの取組について

中山間・地域政策課

1 ユネスコエコパーク（生物圏保存地域）の概要

生態系の保全と持続可能な利活用の調和を目的として1976年にユネスコ（国際連合教育科学文化機関）が開始した制度で、現在、世界で124か国701地域（うち国内では10地域）が登録。

祖母・傾・大崩山系とその周辺地域は、独特な景観美を有する特有の地形地質及び多様かつ貴重な生態系による豊かな自然と、それを人々が守り活用する取組が平成29年6月にユネスコパークとして登録された。

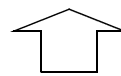
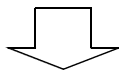
2 推進体制

○祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク推進協議会

エコパークにおける取組方針の決定や推進協議会事業の予算・決算の議決

【構成】2県6市町
 〔宮崎県、延岡市、高千穂町、日之影町〕
 〔大分県、佐伯市、竹田市、豊後大野市〕
 国（森林管理署）、学識経験者、民間団体代表

活動支援



助言・意見

○祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク学術委員会

エコパーク地域内の調査研究や研修等への支援、研究結果の蓄積や活用

【構成】学識経験者、地域研究団体代表

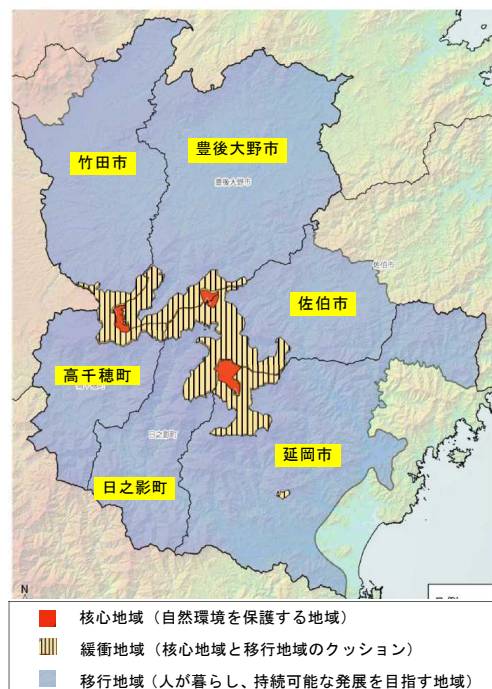
3 推進協議会（2県6市町）の主な取組

（1）貴重な生態系の持続的な保全

- ・ 核心地域拡大の検討
- ・ 登山マナー啓発パンフレットの作成
- ・ 地域内で自然保護活動等を実施している団体の交流・ネットワーク化

（2）学術的研究や調査・研修への支援

- ・ 民間研究者による自然環境調査研究の支援
- ・ エコパークシンポジウムやセミナーの開催
- ・ 地域内の小学生を対象とした交流キャンプの開催
- ・ 子ども向け解説冊子（漫画版）の作成



(3) 自然を活用した地域活性化

- ・夏山フェスタin福岡（登山愛好家向けのイベント）への出展
令和元年6月22日～23日：来場者数約5,100名
- ・普及啓発グッズ（のぼり旗、バッジ、ポストカード）の作成
- ・総合ガイドマップの作成（平成30年度：24,000部作成）



子ども向け解説冊子（漫画版）



夏山フェスタin福岡

4 宮崎県の主な取組

- ・PR動画の作成及び上映（HP、宮崎空港、フェリー内、県庁本館等）
- ・ユネスコエコパーク魅力体感モニターツアーの実施
- ・各市町の案内看板の設置等に対する支援
- ・アウトドアガイドブックの作成



モニターツアー



案内看板

5 成果と今後の取組

- ・希少な動植物の保護活動や子どもたちへの環境教育の取組が活発化し、また、認知度の向上による登山を目的とした来訪者等の増加につながった。

| |
|--|
| 祝子川地区観光客数：(H28) 19,031人→(H29) 24,322人 |
| むかばき青少年自然の家利用団体数：(H28) 515団体→(H29) 527団体 |
| 鹿川キャンプ場利用者数：(H28) 842人→(H29) 1,049人 |

- ・今後は、登録5年後に行われる中間審査（令和4年度）や10年ごとの定期的検討を見据え、引き続き生態系の保全や研究・教育への支援、誘客促進に取り組み、自然と共生した持続的な発展を目指す。

【国内登録地：10地域】

屋久島・口永良部島（鹿児島県）、白山（石川県、岐阜県、富山県、福井県）、志賀高原（群馬県、長野県）、綾（宮崎県）、大台ヶ原・大峰山・大杉谷（奈良県、三重県）、南アルプス（山梨県、長野県、静岡県）、只見（福島県）、祖母・傾・大崩（宮崎県、大分県）、みなかみ（群馬県、新潟県）、甲武信（山梨県、埼玉県、長野県、東京都）

(参考) 市町村主体の取組

綾ユネスコエコパーク

日本最大級の照葉樹自然林の保護と自然生態系農業を推進する取組が評価され、平成24年7月に本県初のユネスコエコパークとして登録。

○推進体制

綾ユネスコエコパーク地域連携協議会（事務局：綾町）

綾町、大学教授、日本自然保護協会、てるはの森の会、
綾ユネスコエコパークまちづくり協議会、

宮崎森林管理署、宮崎県（中山間・地域政策課、自然環境課）

○主な取組

- ・照葉樹林の保護や復元に取り組む「綾の照葉樹林プロジェクト」
- ・照葉樹林ガイドツアーの実施
- ・自然環境の情報や自然とのふれあいの拠点「綾ユネスコエコパークセンター」の設置
- ・大学と連携した調査・研究の実施

霧島ジオパーク

ジオパークとは、貴重な地形・地質に触れ学ぶことのできる自然公園のことで、自然景観や地質遺産の保護・保全を図りながら、教育や観光などの地域活動に活用することが求められている。

霧島山を囲む宮崎、鹿児島両県の5市2町で行政区域を越えて環境、観光、防災等で連携するために平成19年に設立された「環霧島会議」の活動の一環としてジオパークを目指す取組を開始し、平成22年9月日本ジオパークに認定。

○推進体制

霧島ジオパーク推進連絡協議会（事務局：霧島市）

5市1町（都城市、小林市、えびの市、高原町、霧島市、曾於市）、各市町議会、
宮崎県農林振興局（北諸県及び西諸県）、鹿児島県地域振興局（始良・伊佐及び大隅）、
各商工会議所、各観光協会など

○主な取組

- ・解説板の整備、ジオツアーの実施、ガイド養成等
※県は平成22年度から補助金を交付し支援

- ・世界認定に向けた取組

これまで平成25年と平成28年の2回認定見送り。現在、同じ火山をテーマとする隣接の「桜島・錦江湾ジオパーク」と統合し一つのジオパークとして世界認定を目指している。

- ・国立公園満喫プロジェクトとの連携

霧島錦江湾国立公園で実施中の歩道や展望デッキの整備、観光誘客等のプロジェクトの効果的な活用や連携を推進

世界農業遺産高千穂郷・椎葉山地域の取組について



農政企画課中山間農業振興室

1 世界農業遺産（GIAHS：ジアス）の概要

世界的に重要かつ伝統的な農林水産業を営む地域（農林水産業システム）を、国連食糧農業機関（FAO）が認定する制度で、現在、世界で21ヶ国57地域、日本では11地域が認定。

本地域においては「高千穂郷・椎葉山の山間地農林業複合システム」として、森林と調和しながら営まれてきた多様な農林業と神楽などの伝統文化、それらによって育まれた強靱な地域コミュニティが、世界的に貴重であるとして、平成27年12月に認定を受けた。



地域を象徴する景観「モザイク林相」



脈々と受け継がれる伝統農林文化「神楽」

2 推進体制

構成町村（高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町、諸塚村、椎葉村）、県及びJA、森林組合、観光協会等の関係団体からなる「世界農業遺産高千穂郷・椎葉山地域活性化協議会」（会長：甲斐宗之高千穂町長）において、大学等関係機関や住民・団体等と連携しながら、世界農業遺産を活用した取組を推進。

3 主な取組（「活かす」「育てる」「繋げる」の視点による地域活性化の取組）

（1）活かす

- ・ロゴマークの制作、看板設置、統一ロゴ商品販売、各種広報媒体等による認知度向上
- ・農泊を軸としたGIAHSツーリズムの推進、モニターツアー催行等による旅行商品造成
- ・シンポジウムやセミナーの開催による地域住民への理解醸成 等



ロゴマークを使った特産品販売



世界農業遺産体験バスツアー

(2) 育てる

- ・協議会、宮崎大学、高千穂高校の三者による人材育成に向けた連携協定の締結
- ・教育プログラム GIAHS アカデミー、聞き書き等による、将来を担う若者の育成
- ・宮崎大学 GIAHS 研究グループとの共同研究、教育動画やブックレット等、教材制作
- ・神楽や民謡等伝統文化の保存、継承に取り組む団体への支援 等



人材育成に向けた三者連携協定締結



GIAHS アカデミー「スタディツアー」

(3) 繋げる

- ・地域のファン獲得に向けた都市部でのPRイベント、プロモーション活動
- ・九州内の農業遺産地域やユネスコエコパーク地域との連携による中学生サミット開催
- ・東アジア農業遺産学会、国際フォーラム等での事例紹介等、海外との連携 等



世界農業遺産中学生サミット



国際会議における本地域の事例発表

4 成果と今後の取組

- ・地域の価値や魅力の再認識、自信と誇りの醸成が図られ、農泊の推進や焼畑箇所の増加等、住民主体の新たな取組の開始に繋がった。
- ・今年8月に行われた国によるモニタリング調査において、人材育成の取組や宮崎大学との連携による諸活動について高い評価を得た。
- ・今後も、世界農業遺産を切り口とした生業の創出や、関係人口の増加に向けた取組をはじめ、SDGsの達成や世界への貢献に向けた取組を推進していく。

【参考】国内の世界農業遺産認定11地域 ()内は認定年度

新潟県佐渡地域、石川県能登地域 (H23)

静岡県掛川市周辺地域、熊本県阿蘇地域、大分県国東半島宇佐地域 (H25)

岐阜県長良川上中地域、和歌山県みなべ・田辺地域、宮崎県高千穂郷・椎葉山地域 (H27)

宮城県大崎地域、静岡県わさび栽培地域、徳島県にし阿波地域 (H29)

日本遺産「南国宮崎の古墳景観」の取組について

文化財課

1 日本遺産について

- ・地域の歴史的魅力や特色を通じて、我が国の文化・伝統を語るストーリーを文化庁が認定する事業。
- ・様々な文化財群を地域が主体となって総合的に整備・活用し、国内だけでなく海外へも戦略的に発信していくことにより、地域の活性化を図ることを目的。
- ・本県では、平成30年5月に西都市・宮崎市・新富町が連名で申請したストーリー「古代人のモニュメントー台地に絵を描く 南国宮崎の古墳景観ー」が初めて認定された。

2 推進体制

「日本遺産 南国宮崎の古墳景観活用協議会」

- ・会長：西都市長、副会長：宮崎市長・新富町長、事務局：西都市
- ・事業を企画提案する民間WGの設置
- ・事業経費は、国の文化芸術振興費補助金を活用
※補助金は3年間（平成30～令和2年度）で7千万円程度

3 協議会の主な取組

(1) 調査研究

- ・商品の開発（古墳関連グッズ・食材）
- ・旅行商品の開発

(2) ブランド化・情報発信

- ・サイン構築（説明板や案内板を19ヶ所に設置）
- ・日本遺産映像番組の制作及び放送・配信
- ・のぼり旗や古代衣装（観光ガイド用）の作成
- ・ホームページ作成 等



ロゴマーク



案内板



説明板

(3) 普及啓発・人材育成

- ・サイクルルート設定（モニターツアーの実施）
- ・ミュージカル公演
- ・健康体操、絵本の制作
- ・観光ボランティアガイド育成のガイドブック作成
- ・観光ボランティアガイド養成講座



ミュージカル

4 宮崎県の取組

- ・日本遺産認定を目指す市町村の申請（ストーリー・地域活性化計画の作成）を支援（13件）
- ・西都原考古博物館で日本遺産のPRを兼ねて、令和元年度特別展『埴輪のある風景～日本遺産「南国宮崎の古墳景観」と埴輪』を開催



特別展（西都原考古博物館）

【参考】日本遺産の認定について

平成27年度から令和2年度までに全国で100件程度認定される。

平成27年度：18件、平成28年度：19件、平成29年度：17件

平成30年度：13件、令和元年度：16件（計83件）

国立公園満喫プロジェクトの取組について



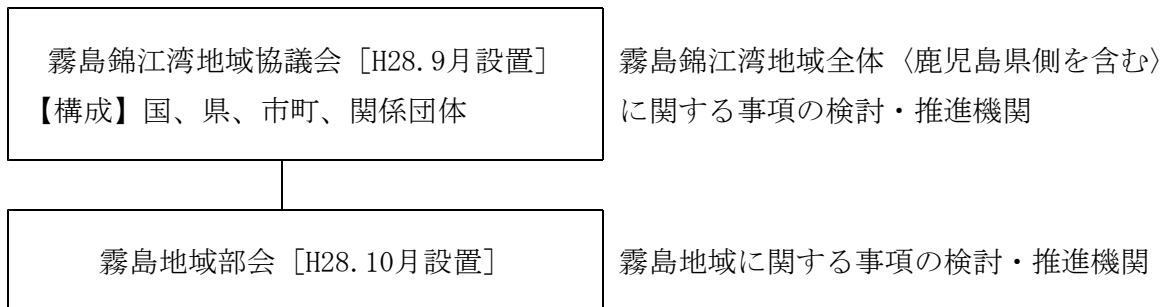
自然環境課自然公園室

1 目的

国の「国立公園満喫プロジェクト」の先行実施公園に選定（H28. 7月）された霧島錦江湾国立公園において、訪日外国人旅行者等を惹きつける取組を計画的、集中的に実施することにより、外国人を含めた利用者の増加や国立公園を活用した地域の活性化を図る。

〔目標〕 訪日外国人利用者数 7.1万人（H27） → 20万人（R2）

2 推進体制



3 宮崎県側での主な取組

(1) 魅力の創出

- アクティビティ体験イベントの開催 [H30～]（スタンドアップパドルボード（SUP）、グランピングなど）
- アウトドア拠点施設（アウトドアステーションえびの）オープン [H29、えびの市]



白紫池でのSUP



えびの高原でのグランピング

(2) 滞在しやすい環境整備

○施設整備 [H28～]

二湖パノラマ展望台・ウッドデッキ、韓国岳防護柵、池巡り探勝路多言語案内看板、御池ウッドデッキ、夷守台大幡池線休憩所・駐車場、県道30号線拡幅工事・展望施設、えびの高原キャンプ村ケビン [えびの市] 等

○えびのエコミュージアムセンターにおける多言語表示、W i - F i 整備 [H29、環境省]



二湖パノラマ展望台・ウッドデッキ

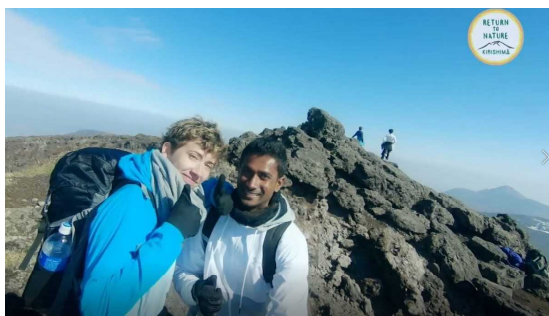


池巡り探勝路多言語案内看板

(3) 情報発信の強化

○体験アクティビティ P R 動画制作・配信 (YouTube、ソラシド機内 等) [H30～]

○地域コンテンツ集制作 [R元、環境省]



P R 動画の一場面



地域コンテンツ集

【参考】満喫プロジェクトの概要

国の「明日の日本を支える観光ビジョン」に基づき、国立公園を「ナショナルパーク」としてのブランド化を図るプロジェクト。

[目 標]

訪日外国人の国立公園利用者数：490万人 (H27) → 1,000万人 (R2)

[先行実施公園]

8公園：阿寒、十和田八幡平、日光、伊勢志摩、大山隠岐、阿蘇くじゅう、霧島錦江湾、慶良間諸島国立公園